



国際会長 (IP) A. Shanavaskhan (India)

Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長 (AP) ジョウン・ウォン (香港)

“Make a Great Impact”

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部長 (DG) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い〜共に喜びを」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に伝えよう (パート II)」

監事 松島 美一  
ブリテン 秋元 美晴  
担当主事 立花 明美

会長 古田 和彦  
副会長 秋元 美晴  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古賀 健一郎

### <今月の聖句>

古賀 健一郎

「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。  
彼らは剣を打ち直して鋤とし  
槍を打ち直して鎌とする。」

(イザヤ書 2:4)

### 今月のひとこと

#### 海外最新保育事情

押川幸男

先月下旬、「海外最新保育事情視察ツアー」に参加しました。デンマーク・コペンハーゲンの「森のようちえん」やスウェーデン・ストックホルムの「レッジョ・エミリア・インスパイアードの就学前学校」を訪問しました。また、ストックホルム大学名誉教授のグニラ・ダールベリ氏の講演もありました。その講演の中で、子どもの権利に関して「子どもは市民であり、意見を聞いてもらう権利がある」ということが印象深く私の心に残りました。



「森のようちえん」は、日本にも保育施設として多く存在しています。実際に、元祖デンマークの「森のようちえん」の園庭が森自体のようでした。写真①

ところが、その「森のようちえん」の周りが本来の森でした。

幸いにも森への散歩に同行することができました。写真②

もう一つのイタリアのレッジョ・エミリア市から生まれたレッジョ・エミリア・アプローチを取り入れた就学前学校では、施設内に芸術的な作品が多くありました。写真③④ 後でわかったことですが、この施設には、子どもの創造的芸術活動を支援する「アトリエ」の責任者「アトリエリスタ」がいました。アトリエリスタには、教育学の知識と同時に、美術の専門的な知識が必要とされ、通常、大学で美術を専攻した人が任命されるそうです。子どもたちの様々な可能性に対して人的環境や自然環境が大きな影響を与えていることに改めて気づかされました。

さらには、就学前からSDGsへの取り組みも行っていました。環境への危機意識が強いことを感じました。写真⑤ 最後に、今回の保育施設視察で「結果よりプロセスを大切にす」ためのドキュメンテーションや様々なプロジェクトの取り組みが新たな保育の可能性を示していると思いました。

今年も、10月上旬まで、ある程度暑い日が残った。ようやく秋が訪れてきて、暑さが収束してきた。一方、私の忙しさの方は収束せず。9月のうちは、依頼者に対し、「この暑さが収まるのとどちらが早く (原稿などが) できるか…」と冗談めいて話していたが、暑さの方が先に収まってきた。ブリテンの原稿も、自分が担当かどうか把握しないまま毎回個別に催促されて気付くような体たらくである。申し訳ありません。



写真①「森のようちえん」の園庭



写真② 森の散歩



写真③ 子どもたちの作品

写真④ 子供たちの作品



写真⑤ SDGsへの取り組み

## <2024年10月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
11名	メ 5名 メネット 0名 コメント 0名 ビクター 2名 ゲスト 0名 合計 7名	64% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

## <11月の行事予定>

### BF/i GO STEP

日	曜	時間	行事内容	場所
11/14	木	18:30	第一例会	中央Y, Zoom
11/23	土	10:00	中央Y ウェルカム フェスタ	中央Y
11/24	日	13:00	大和クリエイティブ Yサービスクラブ チャーターナイト	大和 北京飯店
11/28	木	17:30	第二例会	Zoom
11/30	土	14:00	部 第2回評議会	とつかY

## 10月第一例会報告

齋藤 宙也

日時：10月10日（木）17:00～18:30

場所：横浜中央YMCA708教室

出席者：立花、大高、古賀、齋藤、古田

ゲスト：ライ・デビナさん、グエン・ティ・マイ・タオさん

今回は、オンラインの参加者はいなかった。

今月の聖句は、パウロが、ユダヤ人非難をしているとされる箇所の一部であった。現在の国際情勢を意識した選考（松島ワイス）とのことであった。

今回の卓話は、日本語学科を卒業し、横浜YMCA専門学校国際ビジネス科1年の女性2名の留学生に、日本での生活などについてフリーディスカッション形式で尋ねていくという形を取った。デビナさんはネパール（カトマンズ）出身であり、タオさんは、ベトナム南部のカントーという、メコン川流域の都市の出身である。2人とも、近郊の温泉街でインターンシップを行い、宿泊業界志望とのことであった。

2人からは、日本に来たきっかけ、日本での暮らし方、日本の良いところ（2人とも、便利なところを挙げていた。他方、悪い点を聞いたかったが、特に指摘はなかった。）、母国の気候、シニアの生活の仕方などについて順次話を聞いた。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

最後に、両国の結婚と氏の変更についてもインタビューした。ネパールは選択的で、ベトナムは、子供は父親の名字を継ぎ、夫婦は同姓にしないとのことであった。そもそも、結婚後に夫婦のいずれかの氏を選択しなければならないとする制度を採用している国は、日本だけとされている。その可否はともかくとして、他国の制度を知ること、勉強になる。

留学生2名の話が興味深く、ビジネスの時間は大幅に削減して、ぎりぎりまでディスカッションを行った。そして、デビナさんがたまたま10月生まれであり、今回唯一のハッピーバースデーを祝うことができた。

例会終了後、恒例の記念撮影をして、無事に例会が終了した。有志は、2次会で更に懇親を深めた（私は、疲労の限界で行けず）。



デビナさん、タオさんを囲んで

## 「横浜 YMCA 140 周年記念礼拝・感謝会報告」

古田 和彦

### 1. 創立記念礼拝・上海 YMCA—横浜 YMCA パートナーシップ協定締結式

日時 2024年10月5日 13:00-14:00 於 横浜海岸教会

### 2. 記念感謝会 15:30-17:30 於 英一番館

横浜 YMCA は 1884(明治17)年10月、横浜海岸教会の青年たちが中心となって誕生しました。それから、140年が経過し今日に至っています。今日までの神様の導きに感謝するとともに、これからの時代を見つめ、地域の課題にしっかりと取り組んでいけるよう、また、平和な世界の実現のために働きを進めていけるよう決意を新たにす機会として、この時を持ちました。

まず、礼拝です。司会は常議員の水田秀子さん、メッセージは横浜海岸教会の上山修平牧師、奏楽は同教会の鈴木静代さんでした。上山牧師は、横浜 YMCA が 140 年間活動してこられたことはまず第1に、神様の支えがあったことを感謝すべきと話されました。そのうえで、自然環境や政治状況が激しい変化の中にある世界において、YMCA の正章に示される「知

性」「身体」とともに神様とつながる「精神」をも加えた人間形成、その人間によって形成される健全な社会の実現に向けて仕えてほしいと述べられました。また、この礼拝では、横浜 YMCA 混声合唱団が讃美を捧げてください、列席者全員で横浜 YMCA—私たちの使命—を交読しました。

礼拝の後、上海 YMCA—横浜 YMCA パートナーシップ締結式が行われました。永く、両 YMCA は交流を続けてきましたが、まだ正式にパートナーシップの締結をしていなかったとのことで、この機会に実現しました。締結書への署名は、上海 YMCA は、FANG Jian 理事長と YUAN Ye 総主事が、横浜 YMCA は、工藤誠一理事長と佐竹博総主事が行い、締結書の交換を行いました。

感謝会開始まで少し時間がありましたので、それぞれ久しぶりの方との交流を深め、15時30分、県民ホール6階の英一番館に集い、創立140周年記念感謝会を持ちました。こちらでは、横浜 YMCA ポートフレンズによるハンドベル演奏、140年の歩みを記した映像の紹介、そのほか、上海 YMCA の方のスピーチや歴史の中の一断面を紹介するスピーチなどで和やかに進みました。最後に、佐竹総主事の挨拶があり、感謝とともに、150周年に向けて歴史資料の収集を行っているので、協力してほしい旨の依頼がありました。

横浜クラブ参加者：秋元、古賀、佐竹、古田



感謝会での集合写真

## 第27回横浜 YMCA

### インターナショナル・チャリティーラン

大高 治

- 1 日時：2024年10月19日（土）7:45~12:30
- 2 会場：横浜みなとみらい21地区・臨港パーク
- 3 参加者：選手 5人x66チーム+応援団（家族、同輩、友人）で推定600人
- 4 支援者：YMCA 関係者、ワイズメンズクラブ 推定100人  
イ 湘南・沖縄部：横浜、鎌倉、厚木、金沢八景、横浜つづき、横浜つるみの各クラブ  
ロ 横浜クラブ：大高、古賀、佐竹、古田
- 5 チャリティーランの流れ  
イ 黙祷・お祈り、競技上の諸注意：YMCA チャリティーラン事務局の責任者 関口スタッフ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

ロ チャリティーラン実行委員長 久保湘南・沖縄部長による「笑いを絶やさず安全に」等の挨拶に続き、予定の「当日の流れ」に従って、スムーズに準備が進み、競技へと進みました。

ハ 競技のコース：小学生以上、スペシャル、幼児、小学生  
事前に累計歩数を競う「オンライン大会」も行われていました。

ニ 閉会式で各種の賞の他、次の賞や基金の贈呈があり、挨拶も続きました。  
・ワイズメンクラブ賞-4チーム  
・大スポンサーの三菱商事特別賞  
・YMCA 工藤理事長への4,240,000円の贈呈と理事長のお礼の挨拶

## 6 トピックス

力量に応じた役割分担が自然となされ；

- ・若者（スポーツ専門学校の学生等）によるテントやアーチの組み立て、
- ・ワイズメン支援による幟旗の組み立て、飲み物の袋詰めと手渡し（今年は焼売弁当のランナーや応援団への手渡しはありませんでした）
- ・パリパラリンピックメダリストの来訪；  
水泳の富田宇宙選手（銅2個）、  
車椅子ラクビーチーム（金）



臨港パーク、日本を代表する近代的ビルに囲まれて



チャリティーラン象徴のアーチ

組立てた幟旗



パラリンピックの銅賞

力強い若者の走り

## 『「美しい港町横濱をつくる会」清掃活動報告』

古賀 健一郎

≪「美しい港町横濱をつくる会」清掃活動≫

日時：2024年10月12日（土）8:20-11:00

集合：桜木町 日本丸メモリアルパーク

場所：集合場所から大通り公園 石の広場

内容：

- ・「美しい港町横濱をつくる会」は、横濱を世界一美しい町にしようという志のもと、地域貢献に関心を持つ企業や団体（横浜 YMCA もその一員）が集まり、清掃活動などを行っています。横浜の清掃ボランティア活動の中でも最大規模の一つとなっています。
- ・横浜には世界中から多くの方々を訪れます。みなとみらい21地区、山下町、桜木町、関内、ポートサイド地区など横浜港沿岸を中心に活動を展開し、美しい街並みの実現、横浜の美化、清掃活動を通じて、地域社会の健全な発展、環境保護に取り組んでいます。

\*\*\*

今回は約360人の参加があり、横浜 YMCA・ワイズのメンバーは、桜木町（日本丸メモリアルパーク）から日ノ出町・福富町周辺を経て大通り公園までのコースで清掃を行いました。清掃活動の中で、プラスチックごみよりも多く目立つのがタバコの吸い殻です。歩いていると至るところで吸い殻が見つかり、その数に驚かされます。

実は、タバコごみは深刻な環境問題を引き起こします。美観を損なうだけでなく、清掃費用を増大させ、住宅火災の原因にもなりかねません。また、路上や側溝に捨てられた吸い殻は排水を通して河川や海に流れ込み、分解されないまま海を汚染し続けます。吸い殻は小さいため、つい「大した問題ではない」と思われがちですが、それが環境や生態系に大きな影響を及ぼすことを私たちは認識すべきです。喫煙者の責任ある廃棄が求められます。

長崎生まれの私ですが、大学の教養課程での2年間は横浜で過ごしました。初めての関東での生活、学生生活のスタートが横浜であったことは特別な思い出です。港町という点で長崎と重なる横浜に親しみを感じ、遠く故郷を思いながら美しい港の風景を眺めたこともあります。結婚して以来、長く横浜で暮らし、この街を「第2の故郷」として愛してきました。横浜を世界一美しい町にしようという思いは私の中にもすっかり根付いており、この活動は今後のライフワークとして取り組んでいきたいと考えています。

（横浜クラブ参加者：大高、古賀、佐竹、立花、古田）

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



大通公園石の広場にて

## 湘南・沖縄部 第28回部大会 報告

古田 和彦

10月26日(土)14時から16時まで、第28回部大会がとつかYMCA1階ホールで開催されました。部大会は3部構成で行われました。

1. 部大会。司会は部会計の千葉裕子ワイズ(鎌倉)で、久保勝昭部長による開会点鐘、挨拶に始まり、阿部正伴部担当主事の聖書朗読(コリント信徒への手紙Ⅱ3:12-18)と祈り、一同でワイズソングを歌い、ワイズの信条を唱和しました。次いでゲストの紹介では、山田公平日本区理事(宇都宮)、鈴木伊知郎ワイズ(宇都宮東)、伊藤クラブの稲葉富士憲ワイズ他2名が紹介されました。山田理事から挨拶があり、理事2年目を迎えやっと内容が分かってきたこと、ワイズ共通の課題として「ワイズは何をしようとしているのか」、「ワイズは何のためにあるのか」みんなで考えていきたいこと、湘南・沖縄部に新しいクラブが誕生することへのお祝いの言葉がありました。佐竹総主事からは東京YMCAとの共同プログラムである外国人墓地に眠るスウィフト、ミラー主事の墓参のため来れないこと、横浜YMCAが140周年を迎えたこと、ワイズのお支えに感謝していること、150年に向けてVISION2034により目標を定めていること、とのメッセージが寄せられました。先の東日本区大会で「ブースター賞(3人の新入会員を獲得)」を受けた小松仲史ワイズ(厚木)の顕彰があり、3つのアピールがありました。一つは、来年熊本で開かれる「第31回アジア太平洋地域大会」、2つ目は、来年6月7日宇都宮で開催の「第28回東日本区大会」、3つ目は、来年11月15日開催の「伊藤クラブ50周年記念例会」でした。

基調講演「アルコール依存症からの回復～寿地区での経験から～」が続き、講師は益巖牧師(日本バプテスト同盟大師新生教会)でした。益牧師は、1970年に寿町にあるバプテスト横浜教会に赴任され、寿町に住む日雇い労働者の方々と出会います。収入があるとすぐお酒に代わる生活をしている方々の更生を図るため、アメリカのカトリック神父であるジョン・ミニーさん提唱のA・Aプログラムの実践を進めます。その第1は、「私た

ちはアルコールに対して無力であり、思い通りに生きていけなくなっていたことを認めた」です。自分自身がアルコール依存症であることを認めること、自分の弱さを認めることが第1ステップです。これを認めて社会生活に復帰された方が出ました。私たちも自分の弱さを受け入れることが大切であると話されました。

2. ユースボランティアリーダーズフォーラム報告。同プログラムに参加した東とつかセンターの宮原未瑞来リーダー、金沢八景の鈴木周兵リーダー、引率スタッフの柳田誠也さん(中央・ウエルネス)から、パワーポイントにより報告されました。基調講演は熊本YMCAの不登校者への取り組みの紹介で、全国各YMCAから集まった34名のユースリーダーとの意見交換・交流がなされました。

3. ハープミニコンサート。向井多恵子さんが、ミニハープで4曲の演奏を披露してくださいました。

16時、久保部長による閉会点鐘で終了しました。

横浜クラブ参加者:古賀、古田ワイズ

## 10月第二例会報告

大高 治

日時 : 2024年10月24日(木)17:00-18:00

出席者:大高、古賀、立花、古田

場所 : ZOOM

古田会長のお祈りに続いて開始。

### 1. 行事予定の確認

10月24日(木)第二例会から12月26日(木)第二例会(休会)までの確認。

### 2. 協議・報告事項

#### (1) 部名の公募

9/30委員会での3つの候補から当クラブは、「①かながわ」を推す。

#### (2) 横浜中央YMCA ウェルカムヘエスタの準備と当日

・11/23(土):担当のバザー部門10時から実施

・11/22(金):値付けと展示品13時から17時、会場606教室

・展示品は9日までに

#### (3) 11月以降の例会

・11月14日(木)YVLF参加リーダーの報告会:依頼済み。人選、開始時間の確認中。

・12月12日(木)中央Y各部門(館外含む)訪問:昨年は14時集合。早い時間に集まれるよう調整するが、(4)を主たる行事にする方向。

・1月18日(土)YMCA・ワイズ合同新年会(第一例会)

・2月11日(火・休)YMCA会員総会(第一例会)

#### (4) 日本語スピーチコンテスト参加者2名との懇談会は12月の例会の主たる行事として検討する。①べさん:男性韓国、②ウィハラさん:女性スリランカ

(5) ブリテン11月号の寄稿予定者の確認。編集は秋元ワイズの体調不良等により、古田会長が代行。

(6) 退会者の報告:遠藤喜七、クロタカマーク、クロタカ明美 9月30日付け。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

クロタカさんを紹介した大高は、英会話ボランティア等、何らかの役割でYMCAとの関係が続けられるような配慮・協力をお願いしたいと述べた。

(7) その他

- ① 10/12 美しい港町横浜清掃活動：大高、古賀、佐竹、立花、古田参加
- ② 10/19 第27回チャリティーランのボランティア：大高、古賀、佐竹、古田参加
- ③ 11/16 ミャンマー支援チャリティーコンサート：古賀、立花、古田参加予定
- ④ 区からの「サポートファンド献金」の依頼：24年8月から25年4月、1口1万円
- ⑤ 11/24 大和クリエイティブYサービスクラブチャリティーナイト：古賀、古田が参加予定、お祝いの準備要

11月例会プログラム

日時：11月14日(木) 18:30～20:00

場所：中央YMCA・オンライン

司会 大高治ワイズ

- 1. 開会点鐘および挨拶・・・古田会長
- 2. ワイズソング・ワイズの信条・・・全員
- 3. 今月の聖句・・・古賀ワイズ
- 4. ゲスト・ビジター紹介・・・古田会長
- 5. YVLF サンリーダー報告と懇談  
宮原未瑞来リーダー他
- 6. ビジネス・報告・・・古田会長
- 7. *Happy Birthday*
- 8. 閉会点鐘・・・古田会長

例会報告：古田ワイズ



**担当主事 立花 明美**

10月に入り、日本語学科では10月入学者を迎え新しい学期が始まります。また健康教育事業では冬季Web受付が始まり、徐々に今年の終わりが近づいている感じがします。

10月下旬には冬季Web受付が始まります。

- 10月 1日(火) 横浜YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科 内部入試
- 10月 5日(土) 横浜YMCA140周年記念礼拝  
ECGL オンライン説明会  
横浜YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス/入試
- 10月 6日(日) 空手大会
- 10月 9日(水) 日本語学科後期入会式・オリエンテーション  
Y混定期演奏会 @みなとみらい
- 10月 12日(土) 美しい港町をつくる会清掃活動
- 10月 14日(月) 横浜YMCA 記念日 研修会
- 10月 18日(金)～27日(日) Change Agent @ケニア  
(出張：坂地さん)
- 10月 19日(土) チャリティーラン  
横浜YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス/入試
- 10月 23日(水) 健康教育部 冬季Web受付開始
- 10月 31日(木) 常盤町地域清掃活動

<12月の行事予定>

日	曜日	時間	行事内容	場所
3	火	19:00	第103回Y-Ys協議会	中央Y
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
21	土	13:30	横浜YMCAクリスマス礼拝	日本バプテスト横浜教会

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花明美にご連絡ください。

メール tachibana\_akemi@yokohamaymca.org  
電話 045-661-0080